



Reasonable accommodation のヒント

産業医科大学 立石 清一郎

Reasonable Accommodation



事例：50代男性

- 大腸がん術後。
- 手術後腹痛を知覚。仕事を継続するうえで、立位作業を継続できるのか、という漠然とした不安があった。
- 痛みは5分程度の間欠的なもので、大腸ガス移動によるものと判断。立位作業は医学的禁忌に当たらず、経過観察で可と判断できた。
- 患者さんは、それでも心配がなくなります。
「医学的に問題がなければはたらけるのか？」

検討されるReasonable Accommodation

• 腹痛

1. 症状(障害)

幅広い選択肢

3. 合意形成

- しばらく休職する
- 終日休む
- 半日休む
- 腹痛が出そうなら休む
- 適宜休憩をとる
- 根性で頑張るので見守ってほしい

2. 申し出

業務や経営
の影響

体調の影響

「本人の申し出」を受けて合理的な範囲で事業者と『合意』

より医療的

より企業的

Reasonable accommodation ヒント集

- 作業場の調整
- 作業内容の変更
- スケジュールの調整
- 事業場内ルールの変更
- 本人が安心できる環境整備
- 移動に関連する調整
- 視覚・色覚・聴覚障害に対する対応
- 内服・食事・血糖管理等に関すること
- アピアランスケア
- 補助具・マスクの使用
- その他

<p>参考資料 4 産別配慮集 Reasonable Accommodationの例 【作業場の調整に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 休憩室の整備を行う ● 椅子の配置をおこなう ● 暑すぎない、寒すぎない環境を整備する ● 広い作業スペースを準備する <p>【作業内容の変更】過大・過少な仕事量を避ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 休憩を取りやすい環境整備 ● 段階的な業務量の増加を認める ● テレワーク（在宅勤務）を推進 ● 時差出勤・フレックス勤務を認める ● 残業を免除する・短時間勤務を許可する ● 交代制勤務・夜勤を免除する ● 出張を免除する ● 身体的負担・精神的負担が大きい作業を免除しほかの作業を任せる ● 業務量・業務内容について労働者の希望を聴取したうえで決定する ● 仕事の役割・責任を明確にする ● 高度度の高い仕事をアサインする ● ひより作業の免除 <p>【スケジュールに関連すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 治療のスケジュールに合わせて勤務形態を検討 ● 納期の長い仕事を任せる ● 受注や体調不良時に休みを取りやすくする <p>【事業場内ルールの変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 制服以外の衣服の着用許可 ● 近い位置の駐車場を整備 ● 有給休暇取得しやすい環境整備、休暇可能日数を伝える ● 職場の相談先を明確化する ● トイレに行きやすい環境整備 ● オートメイト対応トイレを準備する <p>【本人が安心できる環境整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● しっぴり休んだ後、帰ってきてほしいと伝える ● 勤務情報提供者を医療機関に提出する ● 上司などを通じて体調について定期的に確認 	<ul style="list-style-type: none"> ● 上司などを通じて必要な配慮について定期的に確認する <p>【移動に関連する調整】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全な移動手段を提供する・確保する ● 広い通路を準備する ● 車いすで移動できる環境整備をする ● 移動が少なくなるよう配置する ● 段差を少なくする ● 駐車場を広くする ● エレベーターを設置する ● 通路に視覚障害者誘導用ブロックを設置する <p>【視覚障害・色覚障害・聴覚障害に対する対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 拡大ソフト、拡大鏡を準備する ● 音声入力、読み上げソフトを準備する ● ハイコントラスト素材を準備する ● まぶしさを軽減するための眼鏡などの使用許可 ● 夜間の業務を削減し日中の業務を準備する ● 色覚特性に応じた色色を利用する ● 補助器具を準備する ● 手話ができる人を配置する ● 筆談を許可する <p>【内服・食事・血糖管理等に関すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内服・食事の許可 ● 内服・血糖測定・インスリン投与・成分分析剤（エンターナル*など）を摂取するなどの場所を提供 <p>【アピアランスケア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対人業務が少なくなるよう工夫する ● メイクできる部屋を準備する ● 更衣室を一人で利用できるよう工夫する <p>【補助具・マスクの使用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電動ファン付き呼吸用保護具を準備する ● 重薬物に用具を用いる ● 補助具を配属する <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 困ったときに申し出をしやすい環境整備 ● 申し出を受ける人は定期的に確認する
--	---

理想的にはリストから
本人に選択してもらう

Reasonable accommodation 検討する際の手順

1. 知覚されている**症状等をリスト化する**
2. リスト化された**症状等から、仕事で困り
そうな症状等を患者さん自らが抽出する**
3. 抽出された**症状等に対し配慮してほしい
内容をヒント集から患者さん自らが抽出
する**
4. 事業者申し出る



このコンテンツは、厚生労働科学研究費補助金（労働安全衛生総合研究事業）
「医療機関における治療と仕事の両立支援の推進に資する研究（20JA0601）」
研究代表者 産業医科大学 立石清一郎 により作成されました。